

松戸市立病院後期臨床研修プログラム（病院病理科）

1. 研修対象者：初期臨床研修修了者で、病院病理学の研修を希望する医師。
2. 研修期間：4年間（日本病理学会認定病理専門医受験資格として必要）。ただし、一般研修として病理学を研修したい場合は原則として1年以上2年以内とする。
3. 研修カリキュラム：まず、病理業務の基本的な技能習得。次にCPC、学会報告を行う。

A) 基本的な病理業務技能を習得する。

- (1) 組織診断：生検組織診断，手術例の肉眼検索・切り出し・組織診断を行う。組織像の把握と意味について病理総論・各論の両面から理解し習熟する。特殊染色・免疫組織学的染色・蛍光抗体法・電子顕微鏡等が必要とされる場合について理解する。
- (2) 細胞診断：細胞診の基本的な見方を習得し、検査師と細胞所見について討議する。
- (3) 手術中迅速病理診断：凍結切片標本の見方に習熟する。
- (4) 病理解剖：病理解剖一般技術を習得する。解剖時肉眼所見を把握し表現できる。解剖の法的側面を理解する。

B) CPC、学会報告を行う。4年間で2回以上の学会発表または論文発表をする。

基本的な週間スケジュール：

	月曜日～金曜日	土・日曜日，休祭日
午前	細胞診断・細胞診検討会（毎日） 組織診断（毎日） 病理解剖（適宜）	休み（2年目以降は月に2回ほど待機当番となることがある）
午後	手術検体の肉眼的検索・切り出し（毎日） 組織診断・組織診検討会（毎日） 解剖例の切り出し（随時） 解剖症例検討会（1回/月）	

4. 研修システムの特徴：本院は日本病理学会認定病院であり、本院で4年間研修すれば病理専門医受験資格を獲得することができる（合格率は80～90%）。偏らない十分な症例数（解剖・手術・生検）があることが専門医受験のために必要であるが、本院はその要件を十分に満たしている。真面目に研修すれば必ず合格するように指導する。

病理医は日進月歩する臨床医学に対応するために常に自己研鑽を必要とされている。本院では日本病理学会総会をはじめとして各種学会へ参加して研修できるように配慮されている。

5. 指導スタッフの概要：

病院病理科部長：秋草文四郎（日本病理学会認定病理専門医，日本病理学会学術評議員，日本腎臓学会学術評議員，元千葉大学助教授，元米国ノース・カロライナ大学客員準教授）
 医長：野呂昌弘（日本病理学会認定病理専門医，日本臨床細胞学会指導医）

6. 研修終了後の進路：現状では病理専門医は全国的に不足しているため、資格取得後の就職は比較的容易である。千葉県・関東地方を中心として勤務先を推薦します。また、研究を行いたい場合は千葉大学・筑波大学等々の大学へ紹介します。外国留学についても相談に応じます。